

# キラキラ通信

第3号

年長さんは、もうすぐ修了です！

「さよならぼくたちのようちえん」の歌が、年長さんの各クラスから聞こえてくる季節になりました。

先日の小学校見学では、今年は前渡小学校にお願いをし、見学させていただきました。個人では昨年の秋頃から、何回かお家の方と自分の行く小学校へ足を運んでいると思います。『一人で通う』ということに不安があった子達も、クラスの友達と全員で一緒に見学したことで、『みんな離れても、同じように一年生になる』ということがわかり、とても安心してたようです。

『発表会』や『作品展』を見てもお分かり頂けるように、入園して、教師や友達と一緒に、遊びを中心とした園生活を送ってきたことで、幼児なりに好奇心や探究心を持ち、問題を見いだしたり、解決したりする力がついてきました。また、豊かな感性を發揮し楽しんで見てもらったりすることで、自分に自信がもてるようになり、周りの友達の良さにも気付けるようになってきました。幼稚園教育では、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培ってきました。今年度も年長児一五一名が、立派に修了できることを、とても嬉しく思っています。



平成29年3月15日  
学校法人栄光学園  
栄光幼稚園

## 「ウサギのお世話はまかせて下さい！」 年中組

年中さんは担任の先生と一緒に年長さんから引き継いだウサギに毎日餌をあげることを、とても楽しみにしています。



## 「年長さんお部屋に飾ってね」



たくさんお世話になった年長さんへ、プレゼントを渡します。年長さんから、歌のプレゼントをしてもらいました。



## 「いらっしゃいませー！！」 年少組

もうすぐ終了ですが、作品展後、益々年少さんは制作意欲が増えています。また、年長さんの遊びに招待してもらった経験から、自分達でも売り買いができるようになり、この時期遊びは大盛り上がりです。

## 年中さん・年少さんも 4月には進級です

入園した頃は、一人でトイレにも行けず、着替えもできず、友達とも遊べず、いつも先生の後に付いて遊んでいましたね…。進級が近づいた子ども達を見てみると、それはだいぶ前のことのように感じます。園生活に慣れてくると、思う存分、自分の思いや力を出そうとするので、色々な面で友達とぶつかり、もめごとも多くありますが、しかし、そのような経験を大切にして、教師が支えていくことで、だんだんスムーズなかかわりができるようになっていきます。年中さん・年長さんになっても、自分の得意なことは自信を持って取り組み、苦しいことは友達と一緒にがんばっていけるように願っています。春休みも、体に気を付けてお過ごしください。

## 編集後記



修了の時期は、園生活の中でも、成長した子ども達のパワーが一番あふれている時です。本園では、クラス担任だけではなく、園の職員がみんな協力しあい、一人一人の子ども達の成長を応援してきました。修了式や、終了式では、きっと成長した子ども達の晴れやかな姿が見られることでしょう。

ごしゅうりょう  
おめでとうございます。